

平成21年度 都市整備部の取組方針結果報告

1 職員の意識改革

○意思の疎通と業務の共有化
(取組結果およびその評価) 定期的に部内会議や課内会議を開催し、職員間の意思の疎通を図るとともに、部内業務について共有認識を持つよう周知徹底しました。 各課長補佐や担当係長に対し、課長を補佐し、課内の職員の意識向上を図るよう指導しました。 新採用職員及び採用2年目の職員を対象とした部内研修を実施し、市職員としての心構えを指導しました。 全職員が、職員間の意思の疎通を図ることに努め、共有認識を持って業務にあたるようになりました。
(今後の方針) 定期的に部内会議等を開催しながら、引き続き、業務の共有化を図るよう努めます。

2 業務点検(コンプライアンスの確保を含む)

○業務の進行管理
(取組結果およびその評価) 毎月、各課の事務事業の進捗状況についてヒアリングを行い、各課の事務事業の円滑で適正な執行を図りました。 各課が抱える重要な課題については、随時、ヒアリングを行い、迅速で適切な対応ができるよう努めました。
(今後の方針) 各課のヒアリング等を随時開催し、業務事業の進捗状況等の把握を行い、課題等の早期解決に努めます。

3 市民からの信頼回復

○適切な業務の執行

(取組結果およびその評価)

部内会議や課内会議において、職員一人ひとりが、法令に則り、適切な事務執行を行うよう周知徹底しました。

処理案の回議においては、細心の注意を払って点検を行うよう各課長、課長補佐、担当係長に指示しました。

全職員に対し、常に市民の視点に立った事務事業の処理を心がけるよう指導しました。

全職員が、適切な事務執行を行うよう、常に意識するようになりました。

(今後の方針)

引き続き、事務事業の透明性・公平性・合理性を確保し、適正な執行を行うよう、職員に周知徹底を図ります。

4 子どもが元気に育つまち

○(取組方針)子どもが安全に遊べるまち(スクールゾーンの整備)

(達成状況)

第一小学校区等7小学校区で、歩行空間、交差点のカラー化、外側線補修、スクールゾーンの路面標示等の安全対策を実施しました。

園児・児童を対象とした交通安全教室を77回実施しました。

通学路の歩道の段差の切下げ実施箇所数を拡大しました。

(今後の方針)

計画的なスクールゾーン・通学路の安全対策を進めていきます。

園児・児童の発達段階に応じた交通安全教室の充実を図っていきます。

引き続き、通学路の歩道の段差の切下げを進め、実施箇所の拡大を図ります。

5 高齢社会への対応方針

○取組事項名 高齢者が安心して暮らせるまち

(取組結果およびその評価)

歩道の段差の切下げ実施箇所数を拡大しました。

「あんしん賃貸支援事業」による高齢者の民間賃貸住宅への入居支援において、不動産協力店舗が登録され、住宅の登録が可能となりました。また、支援団体との協定に基づく高齢者住まい探し相談会を実施しました。

(今後の方針)

引き続き、歩道の段差の切下げについて、実施箇所の拡大に努めます。

不動産協力店舗の登録促進のため、福祉部局と連携し、高齢者の民間賃貸住宅への入居支援の拡充を図ると共に、高齢者住まい探し相談会を継続的に開催していきます。

6 重要な取組事項

○(取組方針)地籍調査の推進

(取組結果およびその評価)

平成22年度国庫補助事業として採択され、笛田萩郷住宅地において地籍調査(官民境界等先行調査)を実施することが確定しました。

また、事業の一部の作業を国が直轄で行う都市部官民基本調査制度が創設されたため、実施要望を行いました。

(今後の方針)

平成22年度に笛田萩郷住宅地において地籍調査(官民境界等先行調査)を実施します。

併せて、都市部官民基本調査の実施における国との調整を行います。

また、国・県との調整を行い、予算等の動向も見ながら平成23年度以降の地籍調査実施箇所等について詳細を検討します。

○取組事項名 交差点の改良

(取組結果およびその評価)

岡本市営住宅前交差点改修に向け、横須賀市上下水道局等の関係機関との、協議調整を実施しました。

また、測量及び設計等の調査委託を実施しました。

(今後の方針)

引き続き、横須賀市上下水道局等の関係機関との協議調整を実施するとともに、交差点における交通渋滞の解消を図るため、交差点改修に取り組みます。

○取組事項名 駅前広場の整備

(取組結果およびその評価)

鎌倉駅前広場(東口)改修整備に係る現況測量等の事前調査を実施しました。

大船駅東口ペDESTリアンデッキの基礎調査診断を実施しました。

(今後の方針)

鎌倉駅前広場(東口)については、財源である国庫補助メニューについて、神奈川県と模索していきます。

引き続き、市民や観光客など多くの方々が利用するJR・江ノ電・モノレールなどの鎌倉駅・大船駅の駅前広場や特定経路等の整備改修を計画的に進めます。

○取組事項名 小町通りの電線類地中化
(取組結果およびその評価) 不二家前から瀬戸橋までの区間については、景観舗装を含め、電線類の地中化を完了しました。 瀬戸橋から教会前までの区間については、水道管等の移設工事を実施しました。 教会前から鉄ノ井までの区間については、管路施設の整備を実施しました。
(今後の方針) 平成２３年度全体竣工に向け、整備を進めます。

○(取組方針)住宅政策
(取組結果およびその評価) 住宅政策アドバイザー制度を創設し、若年ファミリー層定住促進の施策として進めている空き家住宅紹介システムの構築について助言を得ながら更なる検討を行いました。また、「市営住宅の総合的整備計画」作成の基礎的資料となる「鎌倉市営住宅長寿命化計画」を作成しました。
(今後の方針) 「鎌倉市営住宅長寿命化計画」に基づき市営住宅ストックの調査や計画的な修繕を実施しながら、「市営住宅の総合的整備計画」の策定の準備を進めます。

○市街化調整区域の生活排水処理
(取組結果およびその評価) 市街化調整区域の下水道整備事業を行うため、管渠実施設計委託及び地下埋設物調査委託を実施しました。 また、分担金条例の制定に向け作業を実施しました。
(今後の方針) 平成21年度に行った管渠実施設計委託等に基づき、平成22年度から市街化調整区域の下水道工事を実施していきます。 また、分担金条例の制定に向け取り組みをすすめます。

○バイオマスエネルギー回収施設
(取組結果およびその評価) 山崎浄化センターバイオマスエネルギー回収施設の整備に向け、環境部と協働で基本構想、基本計画を策定し、事業実施に向け取り組みました。 また、山崎浄化センターから発生している臭気対策として、排気口の改修工事を行うとともに脱臭剤の添加等の対策を実施しました。
(今後の方針) 山崎浄化センターバイオマスエネルギー回収施設整備は、平成21年度に策定した基本構想、基本計画の成果を活用し、施設配置、事業スケジュールや概算経費の積算等、下水道事業認可等の変更や実施設計等、次のステップに向けた作業を進めます。 また、山崎浄化センターから発生している臭気対策については、継続して脱臭剤の添加等を行い、さらなる周辺環境の向上を図ります。

○取組事項名 浸水被害の解消
(取組結果およびその評価) 浸水被害の重点対策地区とされる大塚川・新川地区の一部地域について浸水被害の解消に向け、雨水幹線の河床掘削等の実施設計委託を発注し、具体的な浸水対策案をまとめました。
(今後の方針) 引き続き、大塚川・新川地区の実実施設計委託を発注するとともに、実施設計委託に基づき、水路及び管渠の断面拡幅などの工事を実施します。 他の重点地区とされる神戸川・二又川排水区、佐助川排水区、玉縄・岡本・植木排水区につきましても、今後整備に向け関係機関と協議を進め、浸水被害の解消に取り組めます。 また、「鎌倉市下水道総合浸水対策基本計画」の概要版を作成し、ホームページなどで公開します。